

医療用から要指導・一般用への転用に関する 評価検討会議 ヒアリング用資料

2020年9月24日

一般社団法人日本保険薬局協会 常務理事

たんぽぽ薬局株式会社 代表取締役社長 松野 英子

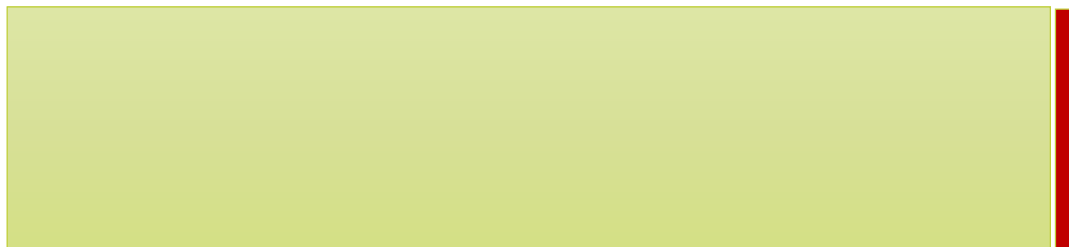
会社の概要

会社名 たんぽぽ薬局株式会社
本社 岐阜県岐阜市若宮町9丁目16番地
店舗 138店舗（東海・北陸・関西・四国）

【売上概要】 45,053百万円（2020年3月期）

【売上内訳】

【OTC医薬品・健康食品・医療材料など】161百万円（構成比0.36%）



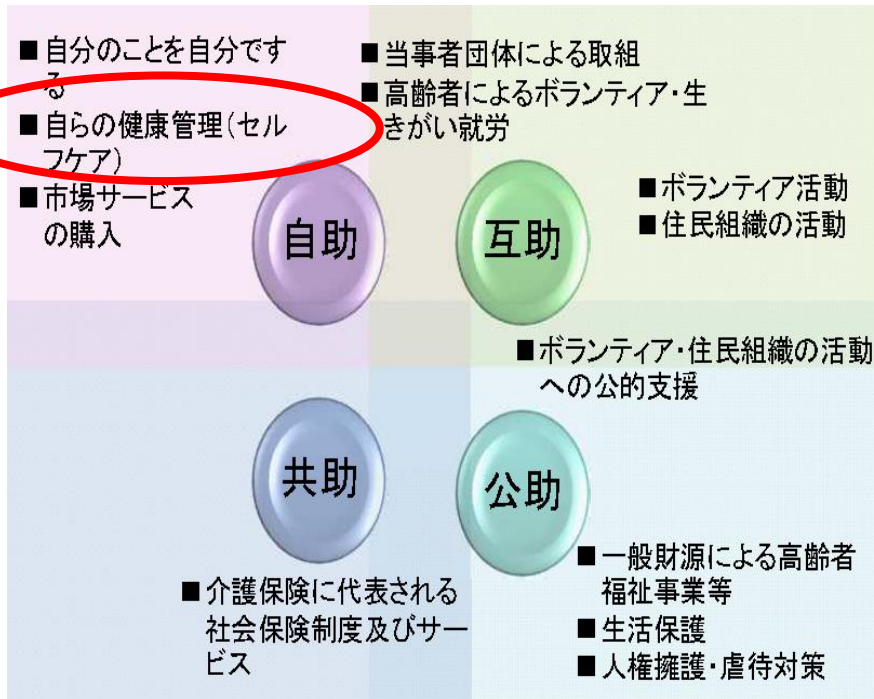
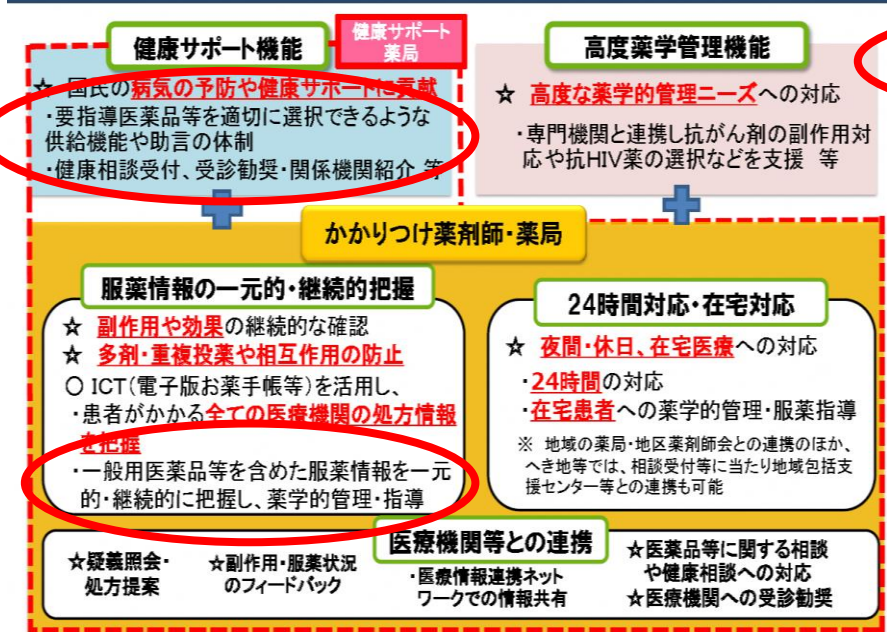
【調剤売上（技術料含む）】 44,889百万円

■ 日本におけるOTC医薬品販売に対する現状分析（背景）

- 薬に対しては、軽い症状、不具合で気軽に手に入るものという風土がある。
 - ・風邪薬、貼り薬、目薬、うがい薬など同じ効能で数多くの商品が販売されている
 - ・箱に効能を含めた分かりやすい記載があり、それを見て、自分で選択出来るという感覚が根強い
- OTC医薬品の適正使用において、販売数量が制限されていない総合感冒薬などが依存対象となっている報告書が公開され、適切な販売のための施策検討の必要性が問われている。
- 置き薬文化もあり、薬剤師や薬局を経由せず、置き薬で症状改善、あるいは受診へ導かれる場合もある。
- 今回の薬機法改正で、要指導医薬品の販売時には、お薬手帳勧奨が示され、必要に応じて手帳の活用が定められたことにより、その安全性や相互作用、重複投薬への配慮がなされた。

■ 国の目指す方向性（厚生労働省資料）

「患者のための薬局ビジョン」 ～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～



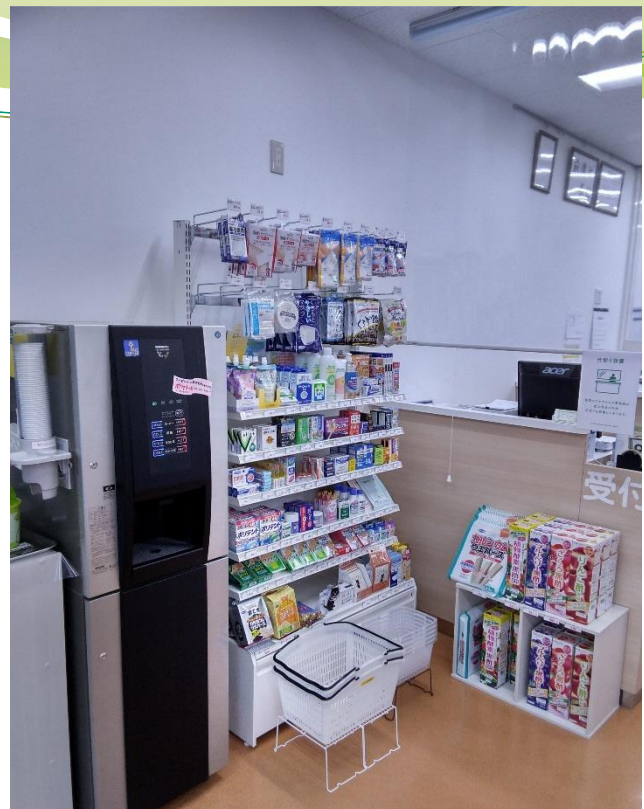
「患者のための薬局ビジョン」

「自助・互助・共助・公助」からみた地域包括ケアシステム

当社の取り組み

自助・互助・共助・公助の自助にあたるセルフケアの推進を図ることや、健康サポート薬局の役割及び、かかりつけとしての機能の発揮の重要性については、薬局長会議や全社員対象の研修会等で、繰り返しの周知を行っている。さらに、地域住民に対しては、各店で健康や薬に関する相談会を実施するとともに、外部（社協・薬剤師会等）での相談会も適宜実施している。

OTC医薬品売り場風景



当社のOTC医薬品取扱・販売状況

要指導医薬品、スイッチOTC薬の販売実績

	要指導薬	スイッチOTC	
実績店舗数	12	119	全店舗数138
店舗販売実績率	8.7%	86.2%	

OTC医薬品取扱品目数およびスイッチOTC薬販売数

2019/10～2020/8

	店舗数	取扱品目数	スイッチOTC薬 販売品目数	スイッチOTC薬 販売個数/1店舗
健康サポート薬局	8	40.3	7.7	43.1
その他薬局	130	29.0	5.5	28.2

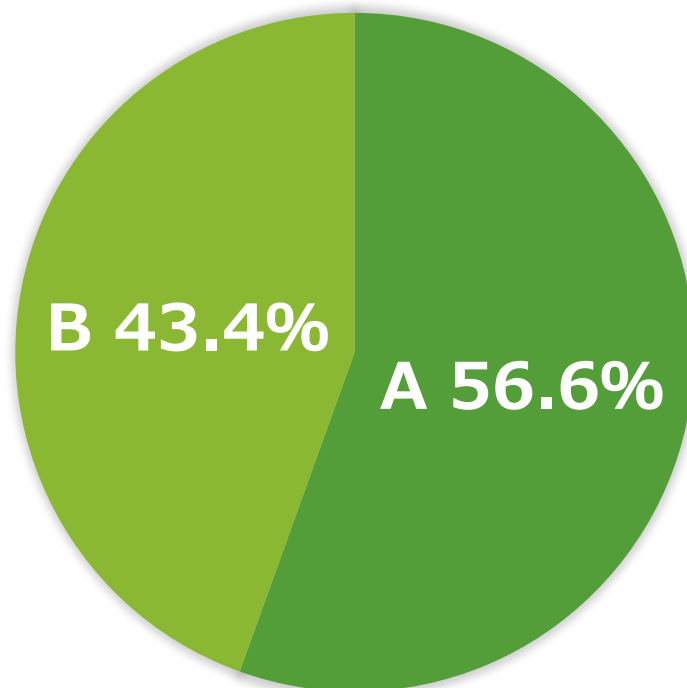
OTC医薬品等に関するご意見要望 (患者アンケートから一部抜粋)

店舗名	要望・ご意見
長良八代店 (岐阜県)	市販品やおすすめ（コロナ、整形関係とか）の商品が、もっと多種類あって相談しながら使ってみようかとの流れがあるとうれしいでしょうか？ラインナップを期間ごとに変えるとか・・・病気の内容でいろいろ教えてくれると嬉しいです。
揖斐店 (岐阜県)	医療スタッフ全ての対応が良い。第一類医薬品をもっと並べてほしい。 日常生活をより健康的に過ごせるような予防に役立つ薬局の商品の展示販売を充実して欲しい。菓子類は増えていますが薬品が少ない。
高島店 (滋賀県)	医薬品メーカーからの商品が豊富で、近隣のドラッグストアにはないものが購入できる点が良い。子供用のマスクが買えて嬉しかったです。
加古川店 (兵庫県)	身体にいい飲み物、季節に合った医薬品などおいていただくと嬉しいです。買ってしまいました。
グリーン中央店 (岐阜県)	薬局内に並べてあるドリンク類・栄養食品などは、責任をもって薦められるものだけを置いていただくと有り難いです。（マスコミのコマーシャルに惑わされないように）

スイッチOTC薬販売時における薬剤師の対応について (社内アンケート 店舗数=113)

A : はじめから症状の相談を受けて対応をした場合

B : 何らかの薬品名を指定され、症状を伺って対応をした場合



スイッチOTC薬推奨時に薬剤師が特に留意している事項（自由記述）

留意事項	店舗数
症状・服用薬・現疾患・アレルギー歴等の情報を聞いたうえで、薬を提案している。	11
医療用医薬品と同成分であることを説明。	5
数日で改善しないようであれば受診するよう指導。	4

スイッチOTC薬の利用を広めるために何が必要か？（自由記述）

必要と考えられる事項	店舗数
医療用医薬品と同じものが市販されている事を知らない人が多いため、「スイッチOTC薬」の認知度の向上が必要である。	20
店舗において、顧客の目に留まるような案内や説明が必要である。	12
薬剤師のコミュニケーション能力の向上が重要。	10
保険医療の方が安い事象の改善する必要がある。	9
スイッチOTC薬品目数の増加する必要がある。	4
医師の治療に関する考えなど情報連携等が必要である。	2

今後の課題

利便性と安全性のバランスが重要

健康サポート薬局、かかりつけ薬剤師の役割発揮するために

- ・販売に際し、購入者自身の選択の有無に関わらず、その服用の可否や受診勧奨の必要性まで判断出来るよう、薬剤師が丁寧な聞き取りを行うことが大切である。
- ・薬剤師が、適切な受診勧奨を促したり、症状を聞き出したり出来るように、購入者が理解出来るコミュニケーション力・セルフメディケーションの知識に関する教育強化が必要である。
- ・スイッチOTC薬の品目数増加は、購入者の選択肢を増やす意味では有用である。
- ・生活習慣病等症状発現予防や生活の質改善の観点から、スイッチOTC薬だけでなく、健康食品を含めたトータルの体制強化も重要である。
- ・スイッチOTC薬など併用薬を一元的、継続的に把握するためにも、お薬手帳の活用推進が重要である。
- ・スイッチOTC薬が高額であるという認識について、その事実の是非について精査するとともに、今後の改善に繋げていく必要がある。
- ・セルフメディケーション税制の申告方法には手間がかかり、簡素化が望まれる。

ご清聴ありがとうございました。